

## 県内景況情報

2月期

## 製造業

## 〈食料品〉

## 〔パン・菓子製造業〕

前年と比べると若干増加するも、前々年比では微減している。

## 〈繊維工業〉

## 〔織物業〕

原材料である絹の高騰で経営を圧迫している。

## 〈木材・木製品〉

## 〔木材・木製品製造業〕

人手不足の影響や原材料費・燃料費・運送費の上昇など経営的に厳しい状況である。

## 〔木材・木製品製造業〕

現場管理職及び製造工員ともに人員不足。また、新規採用にも苦戦している。

## 〔木材・木製品製造業〕

売上高は昨年度とほぼ同水準であるが、2月単月だけでみると苦戦している。

## 〈鉄鋼・金属〉

## 〔鋳物・鋳鉄〕

好調な建設機械製造業界を得意先とする会社は好調だが、大多数は収支トントンの状況。以前のように半年、一年先の見込みが立てられない。

## 〈一般機械〉

## 〔一般機械器具製造業〕

北九州、筑豊地区は大きな動きがないが人材はどこも不足している。熊本などの半導体関係は忙しいのでその仕事が少し回ってきている。

## 〈電機機器〉

## 〔電気機械器具製造業〕

2月度売上高は、先月より増加（前年同月比でも増加）。産業用ロボット関連は計画通りに推移している。来月度以降の更なる増産を期待している。システム製品の年度末追い込みにも期待している。

## 〈その他製造業〉

## 〔豊製造業〕

2月も天候不順・厳寒で厳しい2月になると覚悟していたが、昨年ほどではなくどこの地区においても昨年よりは好転したかと思われる。また、県官公需に於いてもますますの需要があり、年度末の受注が期待される。

## 非製造業

## 〈卸売業〉

## 〔紙製品卸売業〕

国内製紙メーカーは原紙および原料ともに在庫が大幅に増加してきており荷止めの状況。輸出市況は中国の輸入古紙の大半が米国物に集中し、日本へのオファーが減り価格も大幅に下落してきた。3月以降は国内需要に頼らざるを得ない状況で古紙の余剰が見込まれる。

## 〈小売業〉

## 〔燃料小売業〕

人手不足による労務改善のため9割以上のSSをセルフ化。

## 〔食肉小売業〕

和牛は高値安定。豚肉、鶏肉は値下がり傾向で粗利向上要因に。

## 〈商店街〉

## 〔福岡市〕

2月28日に組合総会を開催した、役員改選があり新体制で諸事業に取り組んでいく。3月の春の市の準備に入っている。例年の各種行事やイベントを企画、実施しながら各店ともに業績の維持向上に努めている。2月1日から無料Wi-Fiの供用開始。多言語マップの配布等を開始し、外国人に好評である。

## 〔北九州市〕

商店街の空き店舗が増加する傾向。店主の高齢化が進んでいるため。

## 〈サービス業〉

## 〔貸おしぼり業〕

人員不足が続いている。障害者雇用などを促進させるため、自社で就業支援事業を行おうとしているところもある。

## 〈建設業〉

## 〔職別工事業〕

見積物件数は減少しているが、手持ち工事量は堅調に推移している。今後これから夏場にかけて大変忙しくなるといわれている。

## 〔建築工事業〕

年度末の忙しい時期にも関わらず、人手が足りない。

## 〈運送業〉

## 〔一般貨物自動車運送業〕

燃料価格の上昇が収益を圧迫する状況になってきた。

人手不足。特に若手ドライバーが不足し、業務に支障をきたしている。

## 〔倉庫業〕

人件費や燃料代の高騰が続いており、値上げ交渉をしている。

# 福岡県の業種別D・I値の変化

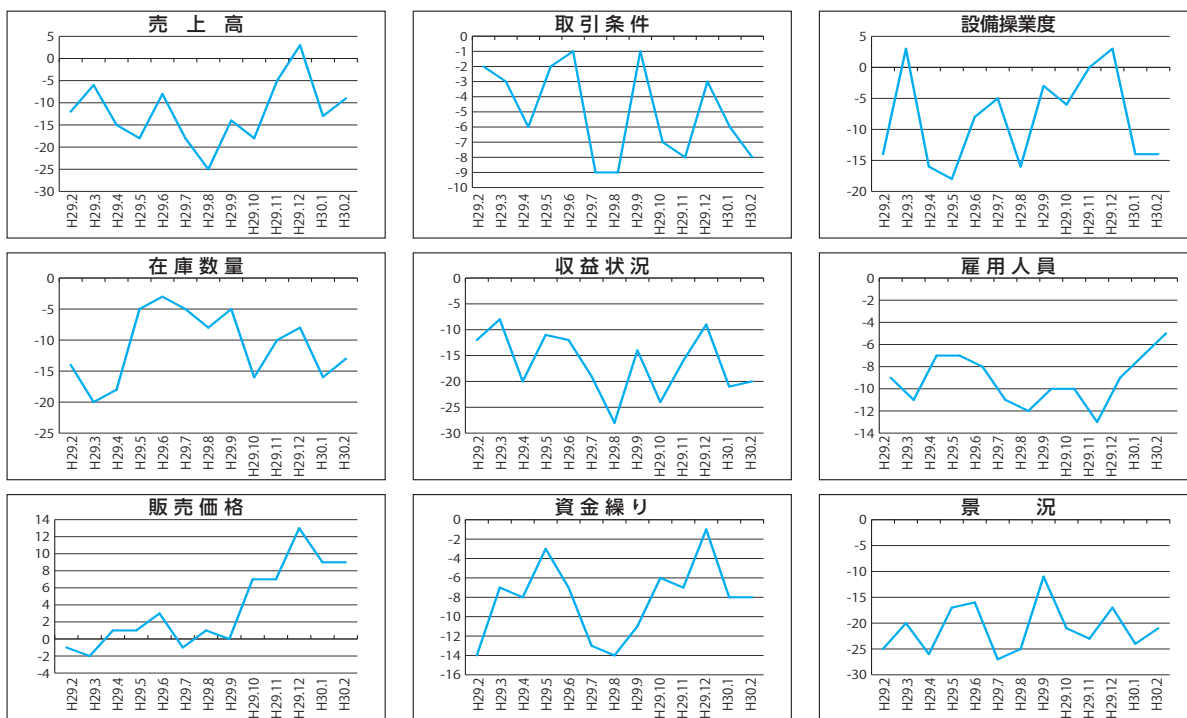
(福岡県中小企業団体中央会調査)

業種	項目	前年同月比								
		売上高	在庫数量	販売価格	取引条件	収益状況	資金繰り	設備操業度	雇用人員	景況
製造業	食料品	→	→	→	→	→	→	→	→	→
	繊維・同製品	↓	→	→	→	↓	→	↓	→	→
	木材・木製品	↓	→	→	→	↓	→	→	→	↓
	印刷	→	→	→	→	→	→	→	→	→
	窯業・土石製品	↓	→	→	→	→	→	→	→	→
	鉄鋼・金属	→	→	→	→	→	→	→	→	→
	一般機器	→	→	→	→	→	→	→	→	→
	電気機器	↑	→	→	→	→	→	→	→	→
非製造業	卸売業	↓	→	→	→	↓	→	—	→	↓
	小売業	↓	→	→	→	↓	→	—	→	→
	商店街	↓	→	→	→	↓	→	—	→	↓
	サービス業	→	—	→	→	→	→	—	→	→
	建設業	→	—	→	→	→	→	—	→	→
	運輸業	→	—	→	→	↓	→	—	→	→
D・I		-9	-13	9	-8	-20	-8	-14	-5	-21

↑ 増加・上昇・好転      → 不変      ↓ 減少・下落・悪化

D・Iとは・・・Diffusion Index (ディフュージョン・インデックス) の略で、企業の業況感や設備、雇用人員の過不足などの判断を指数化したものである。

●前月比D・Iの動きをみると、9項目中5項目が改善している。



全国中小企業団体中央会では、ホームページ上で月次景況調査(情報連絡員全国集計)を公開しておりますので、ぜひご覧下さい。

全国中小企業団体中央会ホームページ <http://www.chuokai.or.jp/>